

CAMPUS HEALTH

2014.5

51 (2)

特集：大学における健康教育
論文集・協会彙報



Japan University Health Association

CAMPUS HEALTH 51 (2)

特集・論文集・協会彙報

公益社団法人 全国大学保健管理協会



目 次

巻頭言

保健管理業務の向上を目指して……………	大塚盛男……………	1
---------------------	-----------	---

特集 《大学における健康教育》

安全衛生教育の概要とその推進－保健管理施設が果たす役割についての考察－

	塚原照臣……………	3
保健管理施設の総合大学の教育における役割……………	吉原正治ほか……………	9
保健管理施設の理工系大学の教育における役割……………	安宅勝弘ほか……………	15
保健管理施設の医系大学の教育における役割……………	川村祐一郎ほか……………	21
生活習慣病・メタボリック症候群……………	山本真由美……………	27
大学生への感染症教育の工夫……………	岩崎良章ほか……………	33
アレルギーについて……………	須甲松信……………	38
アルコールと健康……………	宮川八平ほか……………	44
大学の講義・研修会における薬物乱用防止教育の工夫……………	清水幸登ほか……………	50
大学生の食事と健康教育－「雨ニモマケズ」の生活法を教材として－		
	藤井義博……………	56
大学生のストレスとその心理相談……………	佐藤武……………	62
キャンパスメンタルヘルスを考える－当大学の学生相談とその支援体制－		
	中村準一ほか……………	68
リラクゼーションとその技法－リラクゼーションとその技法を指導する－		
	江花昭一……………	74

全国大学保健管理研究集会優秀演題論文

B型肝炎ワクチン基礎接種不反応者に対する本邦の従来法による追加接種の転帰の検討		
	高山昌子ほか……………	81
過去6年間における麻疹・風疹・水痘・ムンプス抗体価，ワクチン接種率についての検討		
	三木寿子……………	87
大学生健診尿糖陽性者の耐糖能とその対応に関する検討……………	齋藤佳子ほか……………	93
大学における教職員健康診断への胃がんリスク検診（ABCD検診）の導入		
	楠田佐江子ほか……………	98
大学健康診断における糖尿病の現状……………	吉村さくらほか……………	104
大学敷地内禁煙にともなう門外の喫煙について……………	茅平鈴子ほか……………	109

発達の修学困難チェックシートおよびUPIを用いた新入生呼び出し面接の試み	寺島 瞳ほか	115
学生定期健康診断時の問診票を活用した看護職によるメンタルスクリーニング	和泉 恵子ほか	121
心の問題を抱える学生への復学支援－休学者相談週間の試み－	前田 章ほか	127
フランスの大学生の健康上の諸問題とその対策について	古橋 忠晃ほか	133

一般投稿論文

大分大学学生のインフルエンザワクチンに関する基礎知識－事前説明や学内啓発活動の必要性－	工藤 欣邦ほか	139
大学生における咳エチケットの認識度と啓発活動	工藤 欣邦ほか	145
学部新入生への第4期麻疹風しん定期接種に関するアンケート調査	潤間 励子ほか	151
日本大学医学部生における麻疹、風疹、ムンプス、水痘に対するIgG抗体価の追跡調査	和田 義之ほか	157
日本大学医学部生における麻疹、風疹、ムンプス、水痘に対する感染予防対策の策定 －予防接種基準と接種方法－	和田 義之ほか	163
基本4感染症のワクチン接種と自然環境下におけるブースター効果（抗体上昇率）の差異	小野 真一ほか	169
2009年と2012年の口腔健診による大学生の口腔健康状態の変化に関する検討	酒巻 裕之ほか	175
「困り具合に関するセルフチェックリスト」の使用に関する予備的研究 －学修困難を有する大学生の早期支援に向けて－	山科 満ほか	181
精神的健康および発達障害関連の支援ニーズと援助要請行動との関連	山崎 勇ほか	187
一般大学生における注意欠陥・多動性と自閉症の傾向について －WURSとAQを用いた予備的調査－	花塚 優貴ほか	193
大学生の抑うつ傾向とセルフケアに関する検討	田中生 雅	199
大学生の抑うつと自殺の捉え方が自殺傾向に与える影響	杉岡 正典ほか	205
話しやすい職場は職員の疲労を軽減する	古川 尚子ほか	211
海外派遣学生に対して医師介入した神経症高リスク群の事例研究	武内 治郎ほか	217
美容に伴う健康被害（おしゃれ障害）発生頻度調査	大見 広規ほか	222
留学生として特別招聘講演「海外の大学保健管理事情」から学んだこと・考えたこと	サマンサ・ジョーンズ	228

報告・症例報告

- 2013年米国大学保健管理協会年次集会に参加して……………山 本 真由美 …… 233
キャンパス内で起きたマムシ咬傷の1事例……………曾 根 恵 子ほか …… 239

平成25年度事業報告

- 第51回（平成25年度）全国大学保健管理研究集会概要…………… 245
平成25年度 地方部会事業報告…………… 258

平成26年度事業計画

- 第52回（平成26年度）全国大学保健管理研究集会ご案内…………… 269
平成26年度地方部会役職者および活動予定…………… 270

- 理事・監事・評議員名簿…………… 273

- 会員名簿…………… 276

協会からのお知らせ

- 会議報告、会議予定…………… 282
協会この1年…………… 283

- 機関誌編集委員会からのお知らせ…………… 285

- CAMPUS HEALTH (2) 投稿規定 …… 286

- あとがき…………… 289

保健管理業務の向上を目指して

公益社団法人全国大学保健管理協会理事 大塚盛男
筑波大学保健管理センター教授

大学における保健管理業務担当する者の守備範囲は、大学の規模やその内容、保健管理業務担当組織の規模や内容により異なっていると思いますが、健康診断とその結果を用いた保健指導、健康教育、健康相談、心身の傷病に対する対応等は、多くの大学で行われているのではないかと思います。その対象者が学生であることは全大学共通であり、大学によっては教職員も対象になっているかと思えます。また、健康診断といっても保健管理業務担当組織が直接実施している大学から全てを外注している大学まで様々かと存じますし、一般定期健康診断だけでなく有害業務従事者の特殊健康診断も行っている大学もあるかと存じます。疾病としては、感染症、外傷、生活習慣病、メンタルヘルス等への対応を求められることが多いかと存じますが、それ以外の疾患への対応が必要な場合もあります。このように、我々は日常業務の中で様々なことに対応することが求められており、それに対応できるだけの広範囲な知識や技能をもっていることが求められます。しかし、個々の保健管理業務担当者にすべてを網羅できる能力を求めることは非現実的でありまして、体制的にもこの必要性に十分対応できるような状況の大学は皆無と言っても過言ではないと思われまます。このような状況の中で少しでも学生・教職員の求めに応じられるようにするためには、担当者間や大学間での連携や情報交換・情報共有が非常に重要になると思えます。

我々の業務の遂行に必要な知識や技能について、一般の医学関係書籍やインターネット等から学べることも多々あると思いますが、実際に業務を行っている者や組織、大学における保健管理業務について良く理解している者でないと対応できないことも多々あると思えます。保健管理研究集会等において講演や発表を聞いたり情報を発信したりすること、本誌の特集や論文等を読むことは、生きた知識や知見を得るための、また日々の業務内容を向上させて行くための最適の場ではないかと思えます。本誌は、全国大学保健管理研究集会報告書である「CAMPUS HEALTH (1)」と特集論文・推薦論文・投稿論文などの論文集等からなる「CAMPUS HEALTH (2)」として発刊されています。報告書や推薦論文・投稿論文では、各大学の保健管理業務担当者や組織が取り組んでいることの実際を知ることができます。特集論文では、保健管理業務に関するその時々の up-to-date な情報をまとめて知ることができます。日常業務においてわからないことや疑問が生じた時や新たな業務の導入の必要性が生じた時には、是非本誌を熟読し、必要があれば著者や発表者に問い合わせして、業務の向上に役立てていけたら良いのではないかと考えています。

本号では、「大学における健康教育」が特集のテーマとなっています。大学は教育の場であり、一般教養から専門領域までの様々な分野の教育がなされていますが、我々は学生や教職員に対して健康教育を行うことができる最前線にいるわけですから、是非その立場を生かして日頃から健康教育に取り組んでいきたいと考えております。本号では、大学における種々の健康教育問題について、それぞれの立場や専門性から熱心に対応されてこられたベテランの先生方が執筆されておられますので、是非勉強させていただき日々の業務に生かして行きたいと考えております。